

キャンドルサービス

- 1 所要時間 1. 5～2時間
- 2 服装 活動しやすい服装、上ぐつ

3 準備物

- ・ 利用者 ゲームなどで使用する物
 - ・ 施設側 研修棟に常設の設備、物品
 - ・ 集火用しょく台
 - ・ 小ろうそく用しょく台
 - ・ 放送設備（マイク2本、CDデッキ、テープデッキ）
 - ・ ピアノ、電子ピアノ
- ※野外活動棟ホールには、集火用しょく台のみ常設。

貸し出し用具（一部購入）

品名	数量
大ろうそく、しょく台	1本
中ろうそく、しょく台	1～8本
小ろうそく（購入）	注文数
ライター	1～2個
うちわ（火消用）	1～3個

片付け用具

品名	数量
ほうき（小）	3本
ブラシ（小）	3本
へら（スクレイパー）	15本
灰皿（ろう入れ）	2個

- 4 活動場所
- ・ 研修棟（300人程度）
 - ・ 野外活動棟ホール（120人程度）

5 活動の流れ

(1) プログラムの検討

- ① キャンドルサービスのテーマを決定する。
- ② テーマに沿って歌やスタンツのやり方や順番、時間配分などを考える。

(2) 係の分担

- ① 営火長 : 始めと終わりに参加者に言葉を贈る。キャンドルサービス全体を統括する。
- ② 司会者 : 司会・進行・演出を行う。全体の流れをつかみ、歌やスタンツを行う。
- ③ 火の使い : 営火の入場と退場を行う。
- ④ 誓詞者 : 営火長から分火された後、誓いの言葉を述べ、参加者に分火する。

時 間	係		火 の 使 い	誓 詞 者	引 率 ・ 指 導 者	施 設 職 員
	内 容					
－ 9 0 ～	1. 事前準備		入退場の練習	分火の練習	①用具の受け取り ②片付け方法の確認	用具の提供
0	2. 全体説明		全体説明を聞く。 所定の位置につく。		全体説明を行う。	
1 0～	3. 入場		待機	入場	司会進行をする。 営火長は入場を見守 る。	
1 5～	第1部 『迎え火の集い』		営火を持って入場	「誓いの言葉」 で中央へ 「分火」で参加 者に分火	①開会の言葉 ②迎え火の歌 ③営火入場 ④営火長の言葉 ⑤誓詞 ⑥分火 ⑦炎の歌 ⑧集火 集火の際、補助を行う	
3 0～	第2部 『交歓の集い』				集火用しよく台の移動 司会進行をする	
1 0 0 ～	第3部 『送り火の集い』		営火を持って退場		①静かな歌 ②営火長の言葉 ③送り火の歌 ④営火退場 ⑥閉会の言葉	
1 1 0 ～	4. 片付け			参加者誘導	①参加者誘導 ②用具回収 ③貸し出し用具の返却 ④終了報告	・ 終了報告を 受ける。 ・ 用具の点検
翌朝					①床やしよく台に落ち た蠟の片付け ②片付け用具の返却	・ 用具の点検

6 活動の実際（一般的な例）

（1）当日の準備

- ① 代表者は16時までに施設職員と打ち合わせをする。
- ② 必要な用具（打ち合わせ時に受け渡し）を活動場所へ運ぶ。
- ③ 営火長、誓詞者、火の使いを集めてリハーサルをする。（位置、持ち方、分火の仕方など）

（2）集合・・・A棟玄関前の広場・小集会場など

- ① キャンドルサービスの流れと1～3部の雰囲気についての説明
- ② 歌の練習
- ③ 営火長、火の使いは事前に移動
- ④ 会場へ入場（司会者や誓詞者を先頭に、無言のまま入場し、円をつくる。）

（3）展開

第1部『迎え火の集い』

- ① 開会の言葉（司会者）
- ② 迎え火の歌（全員で）
 - ・ 「遠き山に日は落ちて」1番斉唱、2番からハミング。
- ③ 営火入場（火の使い）
 - ・ ハミングに入った頃、入場。参加者の顔を照らすように円を一周する。
- ④ 営火長の言葉（営火長）
 - ・ 火に関わる話などをして厳粛な雰囲気を作る。
- ⑤ 誓いの言葉（誓詞者）
 - ・ 営火長の言葉が終わってから、誓詞者は営火長の前に出て分火してもらう。
 - ・ 中ろうそくを胸に掲げ、誓いの言葉を述べる。
- ⑥ 分火（誓詞者→参加者）
 - ・ 誓詞者がグループに戻り、参加者に分火する。
- ⑦ 炎の歌（全員で）
 - ・ 「もえろよもえろ」大きな声で明るく歌う。
- ⑧ 集火（全員）
 - ・ グループごとに列を作り、集火用しょく台にろうそくを立てていく。

第2部『交歓の集い』

- ・ 参加者の人数に応じて、スタンプや全員でできるゲーム、歌などで会を盛り上げる。
- ※ 第2部に入る前に、ろうそくの火を消し、集火用しょく台を中心から移動させておく。

第3部『送り火の集い』

※ 第3部に入る前に、集火用しよく台から、ろうそくを参加者に返却しておく。
(人数や時間に応じて、第3部でろうそくを持つのは誓詞者だけにしてもよい。)

- ・ 参加者の気持ちが落ち着き、全員のろうそくに火がついたら第3部に入る。

① 静かな歌 (全員)

- ・ 歌の間に営火長は営火を持って所定の位置に立つ。

② 営火長の言葉 (営火長)

- ・ つどいの最後を飾るような印象的な話をする。

※ 営火長の言葉が終わったタイミングで、営火以外の火を消す。

③ 送り火の歌 (全員)

- ・ 「今日の日はさようなら」
- ・ 1番、2番は歌詞を、それ以降はハミングで歌う。

④ 営火退場 (火の使い)

- ・ 歌を歌っている間に火の使いは営火長から営火を受け取り、参加者の顔を照らしながら一周して退場する。

⑤ 閉会の言葉 (司会者)

- ・ 終わりの言葉の後、営火長を先頭に退場する。
(最後までムードを壊さないように)

(4) 終了後

- ① 退場の際に、参加者のろうそくとしよく台を回収する。
- ② 事務所に貸し出し用具を返却し、活動が終了したことを報告する。
- ③ 翌朝、会場の後片付けをする。
 - ・ 集火用しよく台や床に落ちた蠟を片付ける。
 - ・ 事務所に片付け用具を返却する。